

館報

下粟津

第81号

下粟津町勢
 (平成23年11月現在)
 世帯数 548世帯
 町民数 1,976名
 男子 962名
 女子 1,014名

下粟津町公民館 TEL44-3123
 事務局受付時間
 月曜日～金曜日 午前9:00～午後1:00
 月末土曜日 午前9:00～午後4:00
 (題字は公民館長)



◆お茶会
 ◆屋内来場者の皆様



11月5日(土)・6日(日)

公民館 まつり

ご来場ありがとうございました



◆厨房(女性部)
 ◆ビンゴ大会



11月5日(土)、6日(日)、下粟津会館にて公民館まつりが開催されました。館内には、町内の皆様からお寄せ頂いた多数の作品が二日間に渡って展示され、来場された方々はその出来栄えに感心しきりでした。

5日、午後からは「子供お楽しみ会」があり、映画上映とビンゴ大会が行われ、アイスクリームの振舞いに子供たちは大はしゃぎでした。午後6:30からはお茶会、7:00からは、詩吟の発表と今年初参加となった「琴きらら」の皆様による大正琴の演奏が催され、日本の伝統文化の共演となった素敵なひとときを過ごしました。

6日はあいにくの雨天となりましたが、多くの皆様にご来場をいただき、公民館まつりは盛り上がりを見せました。屋外では、各種模擬店の他、ゲームコーナー、餅つき、小松みなみ診療所の御厚意による無料健康チェックなど、数々の催しが行われました。また、館内では飲食コーナーが設けられ、ステージで行われる舞台発表を観覧しながらお食事を楽しんで頂きました。かわいらしい園児たちのお遊戯の後、「麗姿クラブ」の皆様による華麗な動きの太極拳、続いて「大正琴2002年会」の皆様による大正琴の演奏、「加賀小町太鼓」の皆様による太鼓の演奏が行われました。

午後からはカラオケ大会が始まり、参加された方々の熱唱に会場は大いに沸き立ちました。

まつりの最後を飾るビンゴ大会では、司会者が読み上げる数字に参加者全員が一喜一憂し、大盛り上がりの中ファイナルとなりました。公民館まつりの運営に御協力下さいました皆様、本当にありがとうございました。

公民館まつり

屋内催し



作品展示



作品展示



詩吟(桃山会)



カ



子供お楽しみ会(映写会)



矢田野第一保育所のお遊戯



ラ



大正琴(琴きらら)



太極拳(麗姿クラブ)



オ



白嶺幼稚園のお遊戯



加賀小町太鼓

ケ



大正琴(大正琴2002年会)



矢田野校下駅伝大会

11月6日(日)、「第42回矢田野校下駅伝大会」が公民館まつりと併せて開催されました。

小雨の降る中、校下6町を5名の選手でタスキを繋ぎ、ゴールをめざして力走しました。沿道では、選手たちに向けて熱い声援が送られていました。選手・役員の皆様、お疲れ様でした。

駅伝メンバー

1区	新村 銀徳
2区	西森 良介
3区	太田 大樹
4区	永井 康博
5区	山口 竜矢



矢田野校下文化祭

10月23日(日)、矢田野小学校体育館において、「矢田野校下文化祭」が行われました。

校下行事としては初の試みで、スポーツ以外の交流は珍しいこともあり期待が集まりました。

出品された作品は、いずれも趣味の域を超えた見事な作品ばかりで、その種類も、絵画・工作・書道・洋裁・手芸・盆栽・川柳とバラエティに富んでおり、会場を訪れた皆様の驚きと称賛を得ました。

このような作品展示は、毎年の公民館祭りでは恒例となっておりますが、他町の作品を見る機会はなかなかありませんので、よい機会となりました。

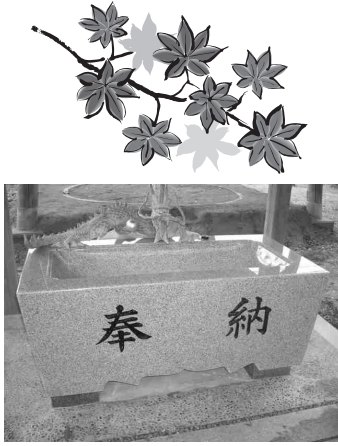


おめでとう初老

平成二十三年度初老

初老を迎えられた亥子友心会の皆様

- 中田 輝昭 北 哲雄
- 松山 靖宜 高橋 剛一
- 今出 喜也 藤元 彰
- 高瀬 静治 飛田 欣志
- 水口 義彦 田中 良直
- 庭田 悟 北 幸弘
- 谷出 孝博 上田 紀夫
- 松山 信博 (出生順)



松山 稔氏 黄綬褒章受章



松山 稔氏

11月2日付で秋の褒章が発表され、下栗津町より松山稔氏が、業務に精励した模範者に贈られる黄綬褒章を受章されました。

長年自動車整備業に従事し、県自動車整備振興会本部理事として業界振興に寄与したことが認められ、今回の受章となりました。おめでとございます。心よりお喜び申し上げます。

今年を振り返って

公民館長 小東 敏政

「絆」「愛」「思いやり」の文字が、今年是一段と心に沁みる一年となりました。今年には、近年には珍しい大雪でのスタートとなりました。町内には高齢や独居の老人家庭も多く、除雪の困難な家庭へは、壮年会や民生委員の方々に除雪して頂き大変助かりました。若い方の力が心強く、さすがと感激致しました。

ようやく冬が終わり、春を感じ出した矢先に東日本大震災が起きました。その規模の大きさ、津波の凄さは言葉では表



せません。又、それに伴って起きた原子力発電所の事故の重大さは、今も社会へ大きな問題を投げかけています。そして、小松の地が今日まで大きな災害がなく、非常に恵まれた地であることを有難く再認識しました。町内会でも町民の方々の思いを、義援金として被災地へ届けることが出来ました。「天災は忘れた頃にやってくる」は、古くて新しい常に心がけたい言葉です。

公民館活動では、例年の行事である町民運動会、秋祭りの仮装輪踊り大会、公民館祭り等が、大勢の町民の参加で盛況のうちに開催出来ました。これらの行事により、町民の親睦と融和が一層強まり、連携の輪が更に広がる機会となった事と思えます。

町内の工事では、永年の懸案の福祉会館の改修工事が行われ、屋根や外壁等の補修が終了しました。又、道路等の整備では、町道・市道の側溝の改修、有線放送ポール、安全ミラーの設置も完了しました。最後になりましたが、一年間非力な私に御指導・御協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

一年を振り返って

公民館主事 南出 勉



公民館行事に、大勢の方々の御参加を頂き、誠に有難うございます。

行事には、町内と校下と市関係があり、それぞれの団体の主催によって行われております。

行事は屋外で行われるものが殆どで、今年は天候に左右されることが多く、そのことで心配とやり繰りで頭を悩ましたことが、スタッフ、各種団体、町内会、町民の皆様の御協力により無事行われましたこと、厚く感謝致します。

公民館行事は、皆様の参加により成り立ちますので、これからも御協力、応援をお願い致します。

今年一年、有難うございました。

